

2027(令和9)年度

入 学 者 選 抜 要 項

- 外 国 語 学 部
- 経 済 学 部
- 文 学 部
- 法 学 部
- 地 域 創 生 学 群
- 国 際 環 境 工 学 部
- 情報イノベーション学部



北方キャンパス



ひびきのキャンパス



公立大学法人
北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

本冊子は2027年度入学試験の概要のみ掲載しています。

出願方法・試験当日・試験終了後の重要な内容について、各選抜の学生募集要項に掲載します。出願前に必ず各選抜の学生募集要項をご確認ください。

学生募集要項は、下記のとおり本学ホームページに公開しますので、ダウンロードしてご確認ください。

選抜区分	学生募集要項 公開時期（予定）
編入学（国際環境工学部）	4月中旬
編入学 （外国語・経済・文・法学部）	7月上旬
総合型選抜	7月下旬
学校推薦型選抜	10月上旬
帰国子女学生特別選抜	11月中旬
外国人留学生特別選抜	11月中旬
一般選抜（前期・中期・後期日程）	11月下旬

※インターネット出願に伴い、学生募集要項は、紙媒体で配布しておりませんのでご了承ください。

CONTENTS

インターネット出願について・新学部設置のお知らせ	1
国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について	1
1 募集人員	2
2 試験日程	3
3 受験及び修学上の配慮について	3
4 入学者選抜の実施教科・科目等	4
(1) 一般選抜	4
(2) 学校推薦型選抜	11
(3) 総合型選抜	16
(4) 帰国子女学生特別選抜	17
(5) 外国人留学生特別選抜	18
(6) 編入学（学士入学を含む）	19
5 教育目的	21
6 アドミッション・ポリシー	23
7 ディプロマ・ポリシー	40
8 入学試験の主な変更点等について	42
9 資料の請求等について	43
交通アクセス	裏表紙

※各選抜の詳細については、変更する場合がありますので、必ず各選抜の学生募集要項でご確認ください。

※2027年度入試における本学の感染防止対策については、決定次第ホームページに掲載しますので、最新の情報をご確認ください。

《インターネット出願について》

各選抜の出願方法は、パソコンやスマートフォン等を利用したインターネット出願を導入しています。

【インターネット出願のメリット】

- 出願書類（学生募集要項）の取り寄せは不要
- 24時間出願手続きが可能
- 内容の確認や修正が簡単、入力漏れ等を防止
- 入学検定料は、コンビニエンスストア・クレジットカード・銀行ATM・ネットバンキングで支払い可能
- 受験票は、志願者により印刷可能（紛失時の再印刷も可能）

【インターネット出願を導入している選抜区分】

- ①一般選抜（前期・中期・後期日程）
- ②学校推薦型選抜
- ③総合型選抜
- ④帰国子女学生特別選抜
- ⑤外国人留学生特別選抜
- ⑥編入学（学士入学を含む）

【インターネットを利用した出願の流れ】



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

《新学部設置のお知らせ》

本学では、**2027年4月、新たに「情報イノベーション学部」を設置します。**
詳細は、随時本学ホームページ等で公表します。

学部名称	情報イノベーション学部
学科名称	情報エンジニアリング学科（入学定員：68名） 共創社会システム学科（入学定員：50名）
入学定員	118名（収容定員472名）
学位	学士（情報工学）

※2027年度の授業は北方キャンパスで実施します。
※情報イノベーション学部のキャンパスとなる旦過キャンパスは
2028年度の供用開始を予定しています。

《国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について》

2010年度に実施の一般選抜試験から、国際環境工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加し、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

対象となるのは、国際環境工学部の次の選抜区分、試験科目です。

■選抜区分：一般選抜 前期日程・後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜

■試験科目：「数学」、「理科」（物理・化学・生物）、「総合問題」

※他の学部・学群は、「入試過去問題活用宣言」に参加しておりません。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp>

1 募集人員

単位：人

学部・学群	学 科 等	募集人員	選 抜 区 分 別 募 集 人 員 内 訳										
			一般選抜			学校推薦型選抜				総合型選抜	帰国子女学生特別選抜	外国人留学生特別選抜	編入学（学士入学を含む）
			前期日程	中期日程	後期日程	全国	地域	商業科総合学科	特別				
外国語学部	英 米 学 科	130	71	－	12	18	9	－	－	20	若干名	若干名	若干名
	中 国 学 科	45	32	－	3	10	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
	国 際 関 係 学 科	77	42	－	5	20	－	－	－	10	若干名	若干名	若干名
経 済 学 部 （注1）		276	120	－	20	50	58	28	－	－	若干名	若干名	若干名 （経済学科） 若干名 （経営情報学科）
文学部	比 較 文 化 学 科	137	68	－	9	27	29	－	4	－	若干名	若干名	若干名
	人 間 関 係 学 科	76	40	－	6	13	12	－	5	－	若干名	若干名	若干名
法学部	法 律 学 科	171	100	－	14	57	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
	政 策 科 学 科	72	40	－	10	22	－	－	－	－	若干名	若干名	若干名
地域創生学群	地 域 創 生 学 類	120	40	－	－	10	－	－	10	60	－	－	－
国際環境工学部	環 境 化 学 工 学 科	43	23	－	15	5	－	－	－	－	－	－	若干名
	機械システム工学科	43	23	－	15	5	－	－	－	若干名	－	－	若干名
	情報システム工学科	若干名	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	若干名
	建築デザイン学科	48	27	－	10	6	－	－	－	5	－	－	若干名
	生 命 工 学 科	43	20	－	10	5	－	－	－	8	－	－	若干名
情報イノベーション学部 （注2）		118	38	30	－	30	20	－	－	－	－	－	－
合 計		1,399	684	30	129	278	128	28	19	103	若干名	若干名	若干名
			843			453							

(注1) 「経済学部」は、学部一括で募集を行います。2年次から自身の希望・適性に基づき、「経済学科(定員138名)」または「経営情報学科(定員138名)」に所属することになります。ただし、編入学試験については学科ごとに募集を行います。

(注2) 「情報イノベーション学部」は、学部一括で募集を行います。2年次から自身の希望・適性に基づき、「情報エンジニアリング学科(定員68名)」または「共創社会システム学科(定員50名)」に所属する予定です。

2 試験日程

選抜区分	学部・学群等	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入学手続期間（予定）
一 般 選 抜 前 期 日 程	文 学 部 法 学 部 国際環境工学部 情報イノベーション学部	2027年1月25日(月) ゝ 2027年2月3日(火)	2027年2月25日(木)	2027年3月7日(日)	2027年3月9日(火) ゝ 2027年3月15日(月)
	外 国 語 学 部 経 済 学 部		2027年2月26日(金)		
	地 域 創 生 学 群		2027年2月26日(金) 2027年2月27日(土)		
一 般 選 抜 中 期 日 程	情報イノベーション学部	2027年1月25日(月) ゝ 2027年2月3日(火)	2027年3月9日(火)	2027年3月20日(土)	2027年3月23日(火) ゝ 2027年3月26日(金)
一 般 選 抜 後 期 日 程	経 済 学 部 法 学 部 国際環境工学部		2027年3月12日(金)		
	外 国 語 学 部 文 学 部		2027年3月13日(土)		
学校推薦型選抜	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部 地 域 創 生 学 群 国際環境工学部 情報イノベーション学部	2026年11月2日(月) ゝ 2026年11月9日(月)	2026年11月29日(日)	2026年12月11日(金)	2027年1月19日(火) ゝ 2027年1月22日(金)
総合型選抜	外 国 語 学 部 (英米学科) (国際関係学科) 地 域 創 生 学 群 国際環境工学部 (機械システム工学科) (建築デザイン学科) (生命工学科)	2026年9月1日(火) ゝ 2026年9月7日(月)	1次選考 2026年9月27日(日) 2次選考 2026年10月18日(日)	1次発表 2026年10月2日(金) 2次発表 2026年11月2日(月)	
帰国子女学生 特 別 選 抜	外 国 語 学 部 経 済 学 部	2027年1月4日(月) ゝ 2027年1月8日(金)	2027年2月7日(日)	2027年2月15日(月)	2027年3月9日(火) ゝ 2027年3月15日(月) (海外在住者) 2027年2月17日(水) ゝ 2027年2月26日(金)
外国人留学生 特 別 選 抜	文 学 部 法 学 部				
編 入 学 (学士入学を含む)	外 国 語 学 部 経 済 学 部 文 学 部 法 学 部	2026年7月29日(水) ゝ 2026年8月4日(火)	2026年9月6日(日)	2026年9月11日(金)	2027年1月19日(火) ゝ 2027年1月22日(金)
	国際環境工学部	2026年5月11日(月) ゝ 2026年5月15日(金)	2026年6月7日(日)	2026年6月17日(水)	

3 受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に裏表紙のお問い合わせ先へ相談の上、出願開始日の2週間程度前までに指定する書類を提出してください。審査の結果、必要と判断された措置内容を通知しますので、その通知書を添えて出願してください。

4 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 一般選抜

① 出願資格

- 次の各号のいずれかに該当し、志望する学部・学科等が指定する2027（令和9）年度大学入学共通テストの教科・科目を受験した者
- ア 高等学校（特別支援学校の高等部及び中等教育学校を含む、以下同じ）を卒業した者又は2027年3月卒業見込みの者
 - イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月修了見込みの者
 - ウ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月修了見込みの者
 - オ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月修了見込みの者
 - カ 文部科学大臣の指定した者
 - キ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの
 - ク 本学において、個別の入学資格審査（注）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの

- （注）
- ・ 本学の入学資格審査を希望し、大学入学共通テストに出願する予定の者は、2026年8月21日（金）午後5時までに、大学入学資格審査申請書（様式はホームページに掲載）を裏表紙のお問い合わせ先へ提出してください。
 - ・ 他大学において入学資格の認定を受け、2027（令和9）年度大学入学共通テストに出願した者で、改めて本学へ出願を希望するものについても、2027年1月8日（金）までに、大学入学資格審査申請書（様式はホームページに掲載）を裏表紙のお問い合わせ先へ提出し、本学の入学資格審査を受ける必要があります。

② 試験実施方式・日程について

- ・ 本学は、分離分割方式による「前期日程」、「後期日程」及び「公立大学中期日程（以下、「中期日程」という。）」の試験で実施します。
- ・ 国公立大学志願者は、「前期日程」の大学・学部等から一つ、「後期日程」の大学・学部等から一つ及び「中期日程」の大学・学部等から一つの合計三つの大学・学部等に出願することができます。

③ 追加合格について

- 入学手続完了者が募集人員に満たない場合には、一般選抜においていずれの国公立大学にも入学手続をとっていない者を対象として2027年3月28日以降、追加合格を行うことがあります。

④ 一般選抜の入試教科・科目等

- 記載中の、「第1解答科目」「第2解答科目」とは、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合に、解答順に、前半に受験した科目が「第1解答科目」、後半に受験した科目が「第2解答科目」です。
- また、本要項の大学入学共通テストの利用配点は、本学入試用配点を記載しており、必要に応じて点数を換算して利用します。

【科目名の略称について】

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト（以下、「個別テスト」という。）の科目名は、以下のように略しています。

地理総合→地総、地理探究→地探、歴史総合→歴総、日本史探究→日探、世界史探究→世探、倫理→倫、政治・経済→政経、数学Ⅰ→数Ⅰ、数学Ⅱ→数Ⅱ、数学Ⅲ→数Ⅲ、数学A→数A、数学B→数B、数学C→数C、物理基礎→物基、化学基礎→化基、生物基礎→生基、地学基礎→地基、物理→物、化学→化、生物→生、地学→地、英語→英、ドイツ語→独、フランス語→仏、中国語→中、韓国語→韓

外国語学部

学 科	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
英 米 学 科	前期	71	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	200 100 300 (R150 L150) (注3) 計600	外国語	英語 (英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100分	400	1000	追加 合格
	後期	12	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	100 100 100 (R50 L50) (注3) 計300	小論文		100分	400	700	
中 国 学 科	前期	32	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	200 100 300 (R200 L100) (注3) 計600	外国語	英語 (英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100分	400	1000	
	後期	3	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	300 200 400 (R320 L80) (注3) 計900	面接		—	200	1100	
国 際 関 係 学 科	前期	42	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	200 200 200 (R160 L40) (注3) 計600	外国語	英語 (英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100分	400	1000	追加 合格
	後期	5	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」）	200 200 400 (R320 L80) (注3) 計800	面接		—	200	1000	

- (注1) 地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
 理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
 複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
- (注2) 地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
 複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
- (注3) 外国語の「英語」の配点は（ ）内のとおりとします。（R：リーディング、L：リスニング）
 ※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、可否判定から除外します。）

経済学部

学 部	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
経 済 学 部	前期	120	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	200 100 200 200 （注5） 計700	外国語	英語選択 英語 （英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ）	100分	200	900	追加 合格
		60 （注1）	4教科5科目又は 5教科5科目		数 学	数学選択 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、 数B、数C）（注4）	100分	200	900	
	後期	20 （注1）	地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	100 200 200 （注5） 計500	小論文		90分	200	700	
			3教科4科目又は 4教科4科目							

（注1）前期日程は英語選択、数学選択ごとの学部での募集人員となり、後期日程は学部での募集人員となります。

（注2）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注3）受験した科目の得点2科目を配点の対象とします。

（注4）数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

（注5）外国語の「英語」の配点は、リーディング160点、リスニング40点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

文学部

学 科	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
比 較 文 化 学 科	前期	68	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	200 100 200 （注2） 計500	総 合 問 題	現代文と英語の理解力、 表現力、語彙力を問う	100分	200	700	追加 合格
	後期	9	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	100 100 300 （注3） 計500	小論文	現代文の理解力、表現力を問う	90分	200	700	
人 間 関 係 学 科	前期	40	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」）	200 100 200 （注2） 計500	小論文		120分	200	700	追加 合格
	後期	6	外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）		集団討論		—	200	700	

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）

（注2）外国語の「英語」の配点（比較文化学科 前期日程、人間関係学科 前期・後期日程）は、リーディング160点、リスニング40点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

（注3）外国語の「英語」の配点（比較文化学科 後期日程）は、リーディング240点、リスニング60点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

法学部

学 科	日程	募集人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
法 律 学 科	前期	100	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 情報（「情報Ⅰ」）	200 200 200 （注1）	小論文	「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う	90分	300	900	追加 合格
	後期	14	外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1）	200 （注2）	小論文	法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う	60分	200	800	
政策科学科	前期	40			小論文	「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う	90分	300	900	
	後期	10			小論文	法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う	60分	200	800	
			3教科3科目	計600						

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング100点、リスニング100点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外リスニング未受験者は、可否判定から除外します。）

地域創生学群

学 類	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
地 域 創 生 学 類	前期	40	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」「歴総、世探」 「地総／歴総／公共」「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ」「数Ⅰ、数A」「数Ⅱ、数B、数C」） 理科（「物基／化基／生基／地基」「物」「化」「生」「地」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」） 情報（「情報Ⅰ」）	100 100 (注2)	課題論文 集団討論（注3） 活動・資格等実績申告書 〔志望理由書（1200字以内） 調査書〕	60分 －	100 200	600	追加 合格	
			2教科2科目	計200			100			

（注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
理科の「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は、4つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
（注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外リスニング未受験者は、可否判定から除外します。）
（注3）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

国際環境工学部

学 科	日程	募集 人員	大 学 入 学 共 通 テ ス ト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
環 境 化 学 工 学 科	前期 (A方式)	13	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」 「歴総、世探」「地総／歴総／公共」 「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、 数Ⅵ (注4)	120分	200	1175	
			理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200				
	前期 (B方式)	10	数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 3教科4科目	25 25 50 100 (注3) 計200	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、 数Ⅵ (注4)	120分	200	600	
			理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200				
	後期	15	数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「物理」） 理科（「生物」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200 (注2) 25 計625	理科	化学基礎、化学	90分	300	925	
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	前期	23	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」 「歴総、世探」「地総／歴総／公共」 「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200 (注2) 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、 数Ⅵ (注4)	120分	200	1175	追加 合格
			理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200				
	後期	15	数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200 (注2) 25 計625	小論文		90分	200	825	
建 築 デ ザ イ ン 学 科	前期	27	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」 「歴総、世探」「地総／歴総／公共」 「公共、倫」「公共、政経」） 数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 100 100 200 (注2) 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、 数Ⅵ (注4)	120分	200	1175	
			理科	物理基礎、物理、化学基礎、化学	120分	200				
	後期	10	数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、数Ⅵ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科6科目	100 100 100 100 200 (注2) 25 計625	面接（注5）		—	250	875	

国際環境工学部（続き）

学 科	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
生 命 工 学 科	前期	20	国語（「国語」） 地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」 「歴総、世探」「地総／歴総／公共」 「公共、倫」「公共、政経」）から1（注1） 数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」）から2 理科（「生物」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 6教科8科目	100 50 100 100 200 200（注2） 25 計775	数学	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ、 数Ⅵ（注4）	120分	200	1175	追加 合格
			理科	物理（物理基礎、物理） 化学（化学基礎、化学） 生物（生物基礎、生物）から2科目 選択	120分	200				
	後期	10	数学（「数Ⅰ、数Ⅱ」） 数学（「数Ⅲ、数Ⅳ」） 理科（「物理」） 理科（「化学」）から1（注6） 理科（「生物」） 外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」） 4教科5科目	100 100 200 200（注2） 25 計625	面接（注5）			—	200	825

(注1) 地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。(2つで1科目として扱います。)

地理歴史及び公民を2科目受験している場合は、そのうちの第1解答科目を配点の対象とします。

(注2) 外国語の「英語」の配点は、リーディング100点、リスニング100点とします。

(注3) 外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。

※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、合否判定から除外します。）

(注4) 数Aの出題範囲は「図形の性質、場合の数と確率」、数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。

(注5) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。なお、調査書は面接の際の参考とします。

(注6) 理科(基礎を付さない科目)を2科目受験している場合は、そのうち第1解答科目を配点の対象とします。

【国際環境工学部 前期日程の第2志望制度について】

国際環境工学部前期日程は、志望の学科のほかに第2志望の学科（国際環境工学部の学科に限る）まで選択することができます。ただし、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科を第1志望とする受験生は、第2志望の出願はできません。また、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科以外の学科を第1志望とする受験生は、環境化学工学科（B方式）及び生命工学科を第2志望の学科として出願することはできません。

情報イノベーション学部

学 部	日程	募集 人員	大学入学共通テスト		個 別 テ ス ト 等				配点 合計	欠員 補充 方法
			指定する教科・科目	利用配点	教科	科 目 等	時間	配点		
情報イノベーション 学 部	前期	38	国語（「国語」） 数学（「数Ⅰ、数A」） 数学（「数Ⅱ、数B、数C」）	100 50 50	数学①	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・ 数C （数Bの出題範囲は「数列、統計的な推測」、数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。） （注③）	100分	200	600	追加 合格
			地歴・公民（「地総、地探」「歴総、日探」 「歴総、世探」「地総／歴総／公共」 「公共、倫」「公共、政経」）から1 理科（「物」「化」「生」）	50						
	中期	30	外国語（「英」「独」「仏」「中」「韓」から1） 情報（「情報Ⅰ」）	100 （注②） 50	数学②	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B・数C （数Bの出題範囲は「数列」、数Cの出題範囲は「ベクトル、平面上の曲線と複素数平面」とします。） （注③）	100分	200	600	
			5教科6科目	計400						

- （注1）地理歴史及び公民の「地総／歴総／公共」を選択する場合は、3つの内容のうち2つを選択解答してください。（2つで1科目として扱います。）
複数教科・科目受験している場合は、そのうちの最高得点の科目を配点の対象とします。ただし、地理歴史及び公民並びに理科を2科目受験している場合は、それぞれの教科の第1解答科目を採用対象の科目とします。（地理歴史及び公民並びに理科の第2解答科目が最高得点であっても、配点の対象とはなりません。）
- （注2）外国語の「英語」の配点は、リーディング50点、リスニング50点とします。
※大学入学共通テストの外国語の「英語」には、リスニングの成績を含みます。（免除者以外のリスニング未受験者は、可否判定から除外します。）
- （注3）前期日程は、数学①、数学②の出題範囲からいずれかを選択して解答してください。（試験当日、問題冊子内で数学①または②のいずれかを選択し、選択した範囲の問題のみ解答してください。）いずれの選択においても受験者が不利にならないように十分な配慮をします。
- （注4）数Ⅵの出題範囲は「数列」、数Ⅶの出題範囲は「ベクトル」とします。

(2) 学校推薦型選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程等を含みます。
 なお、これら以外の学校を卒業した者及び2027年3月に卒業見込みの者は、本学において入学資格審査を行い、認められれば高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者と同等であるとみなします。
 また、表中の「卒業」は、高等専門学校においては「3年次修了」と読み替えてください。
- イ 大学入学共通テストは課しません。
- ウ 複数の学部（学群）・学科（学類）・推薦種別間で併願はできません。

外国語学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
英 米 学 科	全 国 推 薦	18	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの公的な資格を取得した個人（記載レベル以上） ・実用英語技能検定（英検）準1級（注1） ・TOEFL iBT:68点（旧）（注2） ・TOEFL iBT:3.5点（新）（注2） ・TOEIC L&R:640点（注2） ・GTEC:1230点（注3） ※資格を証明する書類の写しを提出すること（注4）		調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	英語による面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による面接（注5） 調査書	—	240 60
	地 域 推 薦	9	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注4）	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.7以上で、なおかつ外国語（英語）の評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり3名	英語による小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による小論文 推薦書 調査書	90分	200 30
中 国 学 科	全 国 推 薦	10	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年3月に卒業見込みの者		調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書、入学希望理由書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（可否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。 なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書 入学希望理由書	90分	200 100

外国語学部（続き）

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
国際関係学科	全 国 推 薦	20	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。なお、高度な外国語能力を持つ志願者については、推薦書、調査書の点数化にあたり特に評価する。 英語（例：実用英語技能検定（S-CBT含む））のほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語等についても考慮する。 ※語学の検定試験の結果（合否問わず）やスコアを証明する書類を提出すること。なお、書類の提出がない場合は、推薦書・調査書に記載があっても評価の対象となりません。	小論文 推薦書 調査書	120分	100 50

（注1）実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。

（注2）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。（旧）は2026年1月20日までに受験した成績、（新）は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。

（注3）GTECはオフィシャルスコアに限ります（CBTタイプを含む）。

（注4）全国推薦と地域推薦の両方の推薦要件を満たす場合は、いずれかを選択することができます。

（注5）推薦書・入学希望理由書は面接の際の資料とします。

経済学部

学 部	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
経 済 学 部	全 国 推 薦	50	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。） （注1、注2）	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等申告書	90分	100 25
	地 域 推 薦	58	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。） ②北九州市外に所在する高等学校を2027年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く。）で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの （注1、注2）			1 高等学校あたり6名				
	商 業 科 推 薦 ・ 総 合	28	高等学校を2027年3月に卒業見込みの者で、商業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの （注2）		調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1 高等学校あたり4名				

（注1）地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているため、いずれかを選択することができます。

（注2）卒業見込みの者には、留学等により2026年4月1日以降に高等学校を卒業できる者を含みます。

文学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等				
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点		
比較文化学科	推全 薦国	27	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、地域推薦の基礎要件に該当しないもの（注1）		調査書の全体の 評定平均値 が3.5以上であること	1 高等学校 あたり4名	小論文の成績と推薦書、調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	200		
人間関係学科		13				1 高等学校 あたり2名						
比較文化学科	地域 推薦	29	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの（注1）			1 高等学校 あたり6名					}	30
人間関係学科		12	1 高等学校 あたり3名									
比較文化学科	特 別	4	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 種目例：野球（硬式・軟式）、テニス（硬式・軟式）、サッカー、ラグビー、バスケットボール、卓球等 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人（活動例） ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校内外におけるボランティア活動 ④高等学校在学中に次のような資格を取得した個人 例（記載レベル同等以上） ・実用英語技能検定（英検）：準1級（注2） ・TOEFL iBT:61点（旧）（注3） ・TOEFL iBT:3.5点（新）（注3） ・TOEIC L&R:620点（注3） ・GTEC:1150点（注4） ・実用フランス語技能検定：準1級 ・ドイツ語技能検定：準1級 ・スペイン語技能検定：2級 ・中国語検定：準2級 ・各種ワープロ検定：1級 ・基本情報技術者 等 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも 該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の 評定平均値 が3.0以上であること	1 高等学校 あたり各学科2名	小論文の成績、推薦書、活動・資格等の実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	－		
人間関係学科		5										

(注1) 地域推薦の推薦要件を満たす者の全国推薦出願を認めません。
(注2) 実用英語技能検定(英検)は英検S-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。
(注3) 提出すべき成績通知書は、TOEFL では「Test Taker Score Report (Test Dateスコア)」、TOEIC では「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。(旧)は2026年1月20日までに受験した成績、(新)は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。
(注4) GTECはオフィシャルスコアに限ります(CBTタイプを含む)。

法学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件				時間	配点
法 律 学 科	全 国 推 薦	57	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①法学部への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れた当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の 評定平均値 が3.8以上であること	制限なし	小論文の成績と推薦書、調査書、資格取得等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 推薦書 調査書 資格取得等 申告書	90分	300
政 策 学 科 科		22								

地域創生学群

学 類	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
地域創生学類	全国推薦 (地方創生推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①地域の課題に対して強い関心を持っており、地域の課題解決に向けた取り組みのアイデアや能力を持っている者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の学習成績概評がA段階に属すること	1 高等学校あたり1名	事前課題に基づくプレゼンテーション及び口頭試問、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	プレゼンテーション及び口頭試問 事前課題 推薦書 調査書 入学希望理由書	—	200
	特別推薦 (活動実績推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①卓越した能力を活かして、リーダー的存在として地域に貢献できる活動へ取り組む意欲がある者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり2名	口頭試問、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	口頭試問 推薦書 活動実績に関する資料 調査書 入学希望理由書	—	200

国際環境工学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成 績 要 件				時間	配点
環 境 化 学 工 学 科	全 国 推 薦	5	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①志望する学科への入学意欲が強く、学業成績・人物とも優れ、当該学科での勉学に適性があること（高等学校で物理及び化学を履修していることが望ましい） ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	化学及び物理を履修しており、化学・物理・数学のいずれかの評定平均値が4.0以上であること	制限なし	化学と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	化学(注1)面接(注3)	120 —	60 40
機械システム工 学 科		5			次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり4名	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	総合問題(注2)面接(注3)	120 —	60 40
建 築 デザイン学科		6				制限なし	小論文と英語、面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 英語(実用英語技能検定(英検)又はGTEC)(注4)面接(注5)	90 —	50 10 40
生 命 工 学 科		5			調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること					

(注1) 化学の基礎的な理解力、思考力、表現力を評価します。
(注2) 自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。
また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。
(注3) 面接では口頭試問を実施する場合があります。なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。
(注4) 英語は、実用英語技能検定（英検）、GTECの点数を換算します。英検、GTECの成績は出願時の年度を含む過去3年度の成績を有効とします。
英検はS-CBTを含みます。なお、デジタル証明書での提出は認めません。GTECは、GTEC検定版（Advanced, Basic, Core）、GTEC CBTタイプを対象とします。
(注5) 面接では高等学校の学習指導要領に定める理科（物理、化学、生物）の中から2科目に関する基礎的な知識を問う口頭試問を実施する場合があります。
なお、推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の参考とします。

情報イノベーション学部

学 部	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
情報イノベーション学 部	全 国 推 薦	30	高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学部への入学意欲が強く、当該学部での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.0以上であること	制限なし	小論文と面接の成績、数学と情報科学に関する高等学校在学中の活動を点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 なお、数学と情報科学に関する活動のうち、以下の記載レベル以上の能力を有する場合は、特に評価する。 ・実用数学技能検定（数検）2級 ・JSTによる「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLAプログラム）」の採択機関が開催するプログラムの参加活動実績 （例：北九州市立大学 GEEKKシルバーバッジ等）	小論文 面接 推薦書 調査書 資格取得等申告書	60分 —	30 70
	地 域 推 薦	20	実用数学技能検定（数検）2級以上の資格を取得し、かつ、次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者で、本人又は扶養者が2026年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有する者 （注1、注2）			1 高等学校あたり1名	面接、推薦書、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	面接(注3) 推薦書 調査書 資格取得等申告書	—	30

(注1) 実用数学技能検定（数検）2級または準1級、1級のいずれかの資格を取得していることが必須です。
(注2) 地域推薦に出願できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているため、いずれかを選択することができます。
(注3) 面接では数学の基礎的な理解力、思考力、表現力を問う口頭試問を実施する場合があります。

【参考】 情報イノベーション学部の学校推薦型選抜における地域推薦と全国推薦の区分

本人又は扶養者の居住地			
		北九州市内	北九州市外
出願者の在籍する高等学校等の所在地	北九州市内	地域推薦	地域推薦
	北九州市外	地域推薦	全国推薦

※「地域推薦」の区分に該当する場合であっても、「全国推薦」に出願することは可能です（併願は不可）。

(3) 総合型選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入学共通テストは課しません。

外国語学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
英 米 学 科	20	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑥文部科学大臣の指定した者	〈1次選考〉 英語による模擬授業の受講後、筆記試験を課す。筆記試験は、模擬授業の内容の理解度及びそれに基づく思考力・表現力を見る試験（英文和訳及び英作文を含む。）とし、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	英語による模擬授業 筆記試験	45分 90分	150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	面接（注1） （英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。）	—	
国際関係学科	10	⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 小論文の成績に基づき、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	小論文	60分	150
			〈2次選考〉 集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）2次選考の面接は、英語及び日本語で行います。また、1次選考の英語による模擬授業の理解度などを見るために、ディスカッションも課します。

地域創生学群

学 類	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
地域創生学類	60	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を2026年4月から2027年3月に卒業した者又は卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者（2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。） ⑥文部科学大臣の指定した者（2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。） ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に2026年4月から2027年3月までに合格した者又は合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 集団討論、自己推薦書（1200字）、調査書を総合的に評価して、2次選考対象者（100名程度）を決定する。	集団討論（注1） （自己推薦書） （調査書）	—	200
			〈2次選考〉 1次選考の結果、小論文及び個別面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	小論文 個別面接	60分 —	

（注1）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

国際環境工学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑥文部科学大臣の指定した者 ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1）	—	100
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 （注2）	—	200
建 築 デ ザ イ ン 学 科	5		〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1）	—	100
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 （注3）	—	200
生 命 工 学 科	8		〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績、数学を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 （注1） 数学（注4）	} — 60	100
			〈2次選考〉 課題解決型記述問題（事前課題）、面接および1次選考結果の合計点から合格者を決定する。	課題解決型記述問題（注5）に関する口頭試問及び個別面接（注6）		—

- （注1）日本の高校を卒業していない外国籍の志願者については、日本留学試験の成績を利用できます。利用する場合は、「2025年度日本留学試験」の第2回又は「2026年度日本留学試験」の第1回で、「日本語」「理科（物理・化学）」「数学（コース2）」を全て受験してください。（出題言語：日本語）
※生命工学科の理科については、物理、化学、生物から2科目選択してください。
- （注2）面接では、課題探究試験（課題は当日に提示）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。
- （注3）面接では、課題探究試験（7月下旬頃、ホームページで課題のテーマを提示予定）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。
- （注4）数学の基礎的な知識、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。
- （注5）課題解決型記述問題は、1次選考合格者にレポートとして事前に提出してもらいます。（7月下旬頃、ホームページで課題を提示予定）
- （注6）個別面接では、課題解決型記述問題（事前課題）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。

（4） 帰国子女学生特別選抜

大学入学共通テストは課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個 別 テ ス ト 等		
					科 目 等	時間	配点
外国語学部	英 米 学 科	若干名	保護者の海外在留により外国において学校教育を受けた日本国籍を有する者のうち、2025年4月1日以降に帰国したもので次の各号のいずれかに該当する者 ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月31日までに修了見込みの者（上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育期間も含まれるが、外国において最終学年も含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠している学校に在学した者については、その期間を外国において教育を受けた期間とはみなさない。） ②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者 ⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者 ⑦本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの	個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。	日本語小論文 英語小論文 面接	} 90分 —	200 30
	中 国 学 科	若干名			日本語小論文 面接 TOEFL又はTOEIC(注1)	90分 —	70 60 70
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 面接（注2） (TOEFL又はTOEIC(注1))	90分 —	100 } 200
経 済 学 部		若干名			小論文 面接	90分 —	70 30
文 学 部	比 較 文 化 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	170 30
	人 間 関 係 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	140 60
法 学 部	法 律 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	100 100
	政 策 科 学 科	若干名					

- （注1）TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。
- （注2）TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

(5) 外国人留学生特別選抜

大学入学共通テストは課しません。

学部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	日 本 留 学 試 験				個別テスト等			配点 合計				
					利用年度・回数	文理	科 目	出題言語	配点	科 目	時間		配点			
外国語学部	英 米 学 科	若干名	次のいずれかの要件を満たし、かつ日本国籍を有せず、さらに「出入国管理及び難民認定法」において大学入学に支障のない在留資格を有する外国人で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」において、出願する学部・学科が指定する利用年度・回数の科目を受験した者（文学部人間関係学科は、「日本語」450点満点中270点以上の者）	日本留学試験の成績、個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。	「2025年度日本留学試験」の第1回又は第2回、「2026年度日本留学試験」の第1回又は第2回のいずれか	文 科 系	日本語 （読解・聴解・聴読解） 総合科目	英語・日本語	— （注1）	日本語小論文 面接 （TOEFL又はTOEIC（注2））	90分 —	100 30	130			
	中 国 学 科	若干名	日本語 総合科目				英語・日本語	100 （注3） 50	面接（注4） （TOEFL又はTOEIC（注2））	—	40	190				
	国際関係学科	若干名	日本語 総合科目				英語・日本語	100 （注3） 100	面接（注4） TOEFL又はTOEIC（注5）	—	60 60			320		
経 済 学 部		若干名	①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は入学の前年度までに修了見込みの者又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定したもの ②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格又は国際Aレベル資格を有する者 ⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者 ⑦外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について文部科学省が定める団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者 ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの				日本留学試験の成績、個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。	「2025年度日本留学試験」の第1回又は第2回、「2026年度日本留学試験」の第1回又は第2回のいずれか	文 科 系	日本語 （読解・聴解・聴読解） 総合科目 数学	日本語 日本語	40 20 20	小論文 面接		90分 — （注6）	100 — （注6）
文学部	比較文化学科	若干名	日本語							— （注1）	集団討論 面接 （TOEFL又はTOEIC（注2））	— —	60 120	180		
	人間関係学科	若干名	日本語 総合科目							日本語	100 （注3） — （注7）	集団面接による口頭試問（注8）	—		180	280
法学部	法 律 学 科	若干名	⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの							日本留学試験の成績、個別テスト等の成績を総合して合格者を決定する。	「2025年度日本留学試験」の第1回又は第2回、「2026年度日本留学試験」の第1回又は第2回のいずれか	文 科 系	日本語 （読解・聴解・聴読解） 総合科目 数学（コース1）	日本語 日本語	— （注1）	日本語小論文 （語学等の辞書持込可） ただし、電子辞書不可 面接
	政 策 学 科	若干名														

(注1) 日本留学試験の成績は面接の際の参考としますので、指定するすべての科目を受験してください。なお、文学部比較文化学科の「日本語」は記述を含みます。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とし、面接の際の参考とします。なお、提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。

(注3) 日本語の配点は、450点（記述を含む。）を記載の配点に換算します。

(注4) 面接に際しては、入学希望理由書も評価の対象とします。

(注5) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書はTOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。

(注6) 面接はABCの3段階で評価し、修学上問題があると認められる場合には、個別学力試験等の成績に関わらず不合格とします。

(注7) 日本留学試験「総合科目」の成績は面接の際の参考としますので、受験してください。

(注8) 集団面接による口頭試験は、入学希望理由書の内容に関することと面接者の質問に基づき実施します。

(6) 編入学（学士入学を含む）

大学入学共通テストは課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個別テスト等		
					科 目 等	時間	配点
外 国 語 部	英 米 学 科	若干名	【外国語学部英米学科】 以下のいずれかの英語の公的資格を有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの (記載レベル以上) ・実用英語技能検定(英検):準1級(注1) ・TOEFL iBT:80点(旧)(注2) ・TOEFL iBT:4点(新)(注2) ・TOEIC L&R:730点(注2) ・IELTS:6.0点(注3)	個別テスト等の成績を総合的に判断して合格者を決定する。	英語 面接(注4) (入学希望理由書)	90分 —	100 } 30
	中 国 学 科	若干名			中国語 (リスニングを含む) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	160 } 40
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 面接(注5) (TOEFL又はTOEIC(注2)) (入学希望理由書)	90分 —	100 } 200
経 済 学 部	経 済 学 科	若干名	【外国語学部中国学科・国際関係学科・文学部】 次の各号のいずれかに該当する者 【経済・法学部】 以下のいずれかの英語の公的資格を有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの (記載レベル以上) ・TOEFL iBT:45点(旧)(注2) ・TOEFL iBT:3点(新)(注2) ・TOEIC L&R:450点(注2) 【国際環境工学部(一般選抜)】 次の各号のいずれかに該当し、かつ別表で指定する科目(単位の記載があるものについてはその単位数)を修得した者又は2027年3月31日までに修得する見込みのある者	個別テスト等の成績を総合的に判断して合格者を決定する。	専門試験 (ミクロ経済学・マクロ経済学の2分野から各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 } 30
	経 営 情 報 学 科	若干名			専門試験 (マネジメント・会計・情報の3分野から各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 } 30
文 学 部	比 較 文 化 学 科	若干名	①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2027年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ②短期大学を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上又は62単位以上であること。)を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者	個別テスト(英語・数学)と口頭試問・面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	170 } 30
	人 間 関 係 学 科	若干名			小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	140 } 60
法 学 部	法 律 学 科	若干名	⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2027年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2027年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2027年3月までに修了見込みの者	個別テスト(英語・数学)と口頭試問・面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	100 } 100
	政 策 科 学 科	若干名			英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲) 口頭試問・面接(注7、13)	— 90分 —	100 150 200
国 際 環 境 工 学 部 (一般選抜)	環 境 化 学 工 学 科	若干名	(別表)	個別テスト(英語・数学)と口頭試問・面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。	英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲) 口頭試問・面接(注8、13)	— 90分 —	100 150 200
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名			英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲) 口頭試問・面接(注9、13)	— 90分 —	100 150 200
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科	若干名			英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲) 口頭試問・面接(注10、13)	— 90分 —	100 150 200
	建 築 デ ザ イ ン 学 科	若干名			英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲) 口頭試問・面接(注11、13)	— 90分 —	100 150 200
	生 命 工 学 科	若干名			英語(TOEFL又はTOEIC)(注6) 口頭試問・面接(注12、13)	— —	100 200

編入学（学士入学を含む）（続き）

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個別テスト等		
					科 目 等	時間	配点
国 際 環 境 工 学 部 (推 薦 選 抜)	環 境 化 学 工 学 科	若干名	次のいずれにも該当すること ①高等専門学校を2027年3月卒業見込みの者で、 在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物・ 学力優秀と認め、責任をもって推薦する者である こと。 ②合格した場合は、入学を確約できる者であるこ と。	推薦書、調査 書（成績証明 書含む）、入学 希望理由書、 口頭試問・面 接の結果を総 合的に判断し て合格者を決 定する。	口頭試問・面接(注12) 推薦書、調査書 (成績証明書を含む)、 入学希望理由書	—	100
	機械システム工学科	若干名					
	情報システム工学科	若干名					
	建 築 デ ザ イ ン 学 科	若干名					
	生 命 工 学 科	若干名					

(注1) 実用英語技能検定（英検）は英検S-CBTを含みます。
(注2) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「Test Taker Score Report（Test Dateスコア）」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。（旧）は2026年1月20日までに受験した成績、（新）は2026年1月21日以降に受験した成績を対象とします。
(注3) IELTSはコンピューター版を含みます。
(注4) 面接は、英語及び日本語で行います。
(注5) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。
(注6) 英語は、TOEFL又はTOEICの点数を換算します。TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。TOEFL iBT、TOEFL ITP、TOEIC L&R、TOEIC L&R IPテスト [TOEIC L&R IPテスト（オンライン）を除く] を対象とします。
(注7) 口頭試問は化学に関する専門知識です。
(注8) 口頭試問は機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識です。
(注9) 口頭試問は電子情報工学に関する専門知識です。
(注10) 口頭試問は建築に関する専門知識です。
(注11) 口頭試問は数学・物理・化学・生物学・環境工学に関する専門知識です。
(注12) 口頭試問は各学科の専門知識（注7～11を参照）です。
(注13) 入学希望理由書は面接の際の参考とします。
※ 編入年次は学部・学科で異なります。外国語学部の編入年次は3年次です。経済学部・国際環境工学部については、単位認定後の認定単位数により編入年次が決まりますので、3年次又は2年次です。文学部については、比較文化学科は3年次、人間関係学科は原則として2年次です。法学部については、原則として2年次です。

5 教育目的

外国語学部： 外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英 米 学 科	中 国 学 科	国際関係学科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

経済学部： 幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

経 済 学 科	経 営 情 報 学 科
豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成	幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成

文学部： 自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

比 較 文 化 学 科	人 間 関 係 学 科
日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成	人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

法学部： 社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

法 律 学 科	政 策 科 学 科
法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成	地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成

地域創生学群： 幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

地 域 創 生 学 類
幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

環境化学工学科	機械システム工学科	情報システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
化学に関する基礎学力と実践力を身につけ、物質変換を含む物質の流れを制御することにより物質の生産、エネルギー・資源循環、環境改善を実現する人材の養成	機械システム技術者として、環境に配慮したもののづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	電子・情報・通信を基礎とする情報システム工学を理解し、情報環境の生み出す諸問題を解決できる能力を持つ人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身につけ、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物・生態・環境の本質を理解し、活用するための基礎学力と実践力を身につけるとともに、バイオテクノロジーやエコテクノロジーを活用した技術開発力や環境問題への対応能力を持つ人材の養成

情報イノベーション学部：急速に発展・変化する情報技術分野や情報社会に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら新たな挑戦を続ける主体性を備えるとともに、国際的な視座と多分野にわたる広範な知識、科学技術の倫理観も兼ね備え、持続可能な社会の実現に貢献するリーダーシップを発揮できる人材の養成

情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
情報工学の理論と技術を基盤に、数理的思考や計算機技術の応用力、さらに人工知能（AI）を含む知能情報処理の実践的スキルを育成し、情報技術を通じて実社会の課題解決に貢献できる人材の養成	情報工学の理論と技術を基盤に、社会科学等多分野の知見と融合させながら、持続可能な社会の構築や地域課題の解決に向けて実践的に貢献できる人材の養成

6 アドミッション・ポリシー

全学アドミッション・ポリシー

北九州市立大学は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

北九州市立大学は、強い意志と希望を持って、地域と共に発展し、世界(地球)の持続可能な社会、豊かな未来に向かって、「知の創造」を目指します。このような大学の目標に共感し、学修に臨みたいと考えるチャレンジ精神に溢れた人を求めます。

（入学者選抜の基本方針）

本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、学力の3要素を多面的、総合的に評価するため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜など、多様な入学試験を実施します。

		求める能力
学 力 の 3 要 素	知識・技能	・学修を始めるに当たって、必要な知識と技能を備えている。
	思考力・判断力・表現力等の能力	・課題を深く思考して、合理的に判断し、自分の考えを分かりやすく的確に表現することができる。
	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	・主体的に、多様な人々とコミュニケーションを図り、他者の考えを理解できる。 ・他者との協働を通して、多様な考えを吸収し、自分を高めようとする意欲を持っている。

外国語学部英米学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部英米学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
- 英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
- 国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	外国語：英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	小論文		○	
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	英語による面接 （推薦書、入学希望理由書）		○	○
		調査書			○
学校推薦型選抜（地域推薦）	基礎学力テスト等	英語による小論文		○	
		推薦書・調査書	○		
総合型選抜	基礎学力テスト等	<1次選考> 英語による模擬授業 筆記試験		○	
		<2次選考> 面接(英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。)			○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等	日本語小論文 英語小論文		○	
		面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	日本語小論文		○	
		面接 (TOEFL又はTOEIC)	○		
編入学	個別テスト等	英語		○	
		面接 (入学希望理由書)			○

外国語学部中国学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部中国学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
- 多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
- 修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 ・英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 ・外国語を修得する素養を備えている。	・文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 ・問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。	・積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・ともに学び合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 外国語：英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 面接		○	○
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等 小論文	○	○	
	推薦書、調査書、入学希望理由書	○		○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等 日本語小論文		○	
	面接		○	○
	TOEFL又はTOEIC	○		
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別テスト等 面接 （TOEFL又はTOEIC）		○	○
編入学	個別テスト等 中国語 （リスニングを含む）	○		
	面接 （入学希望理由書）		○	○

外国語学部国際関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部国際関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
- 英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 ・国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	・国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 ・自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	・国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 ・文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 外国語：英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	面接		○	○
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	○	○	
	推薦書、調査書	○		○
総合型選抜	基礎学力テスト等	○	○	
	<2次選考> 集団討論 面接（自己推薦書）		○	○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等	○	○	
	面接 (TOEFL又はTOEIC)	○		○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	面接 TOEFL又はTOEIC		○	○
編入学	個別テスト等	○	○	
	面接 (TOEFL又はTOEIC、入学希望理由書)	○		○

経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○「社会のメカニズム」に関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済・経営に関する知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・経済・経営分野を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済・経営に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・社会問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)又は数学(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B、数C)	○	○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	小論文		○	
学校推薦型選抜 （全国推薦、地域推薦、 商業科・総合学科推薦）	基礎学力テスト等			○	
	推薦書、調査書、資格取得等申告書				○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等	小論文		○	
		面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	小論文		○	
		面接			○

経済学部経済学科 編入学生受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経済学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○経済活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経済学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・経済学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済社会に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・経済問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
編入学 個別テスト等	専門試験 （ミクロ経済学・マクロ経済学の2分野から各1問:全問解答）	○		
	面接 （入学希望理由書）			○

経済学部経営情報学科 編入学生受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経営情報学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○企業をはじめとする様々な組織の経営活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人

○大学で専門分野として学んだ経営学、会計学、情報科学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・経営学、会計学、情報科学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・様々な組織の経営活動に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。	・経営に関わる諸問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。	・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。
編入学 個別テスト等	専門試験 （マネジメント・会計・情報の3分野から各1問：全問解答）	○		
	面接 （入学希望理由書）			○

文学部比較文化学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部比較文化学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人

○異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。	・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。	・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身についている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 総合問題（現代文と英語の理解力、表現力、語彙力を問う）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文（現代文の理解力、表現力を問う）		○	
学校推薦型選抜 （全国推薦、地域推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書	○		
学校推薦型選抜 （特別推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、活動・資格等の実績、調査書、入学希望理由書			○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別テスト等 集団討論		○	
	面接 （TOEFL又はTOEIC）	○		○
編入学	個別テスト等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

文学部人間関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部人間関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人
- 真の意味での人間の健康な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。	・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。	・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	小論文		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト		○		
	個別テスト等	集団討論			○
学校推薦型選抜（全国推薦・地域推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、調査書	○		
学校推薦型選抜（特別推薦）	基礎学力テスト等	小論文		○	
		推薦書、活動・資格等の実績、調査書、入学希望理由書			○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等	小論文		○	
		面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験		○		
	個別テスト等	集団面接による口頭試問		○	
編入学	個別テスト等	小論文		○	
		面接 （入学希望理由書）			○

法学部法律学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部法律学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・法律学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文（「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う）		○	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文（法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う）		○	
学校推薦型選抜（国推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	推薦書、調査書 資格取得等申告書			○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等 小論文		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別テスト等 日本語小論文		○	
	面接			○
編入学	個別テスト等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

法学部政策科学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部政策科学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 - 文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。	- 国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 - 文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。	- 多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 - 他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文（「公共」の学習を前提として、社会の諸問題に対する知識や、論理的思考力、文章の読解力や表現力等を問う）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文（法学や政策に対する興味と熱意、法学や政策と社会との関わりへの知識・関心、および文章の表現力等を問う）		○	
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等		○	
	推薦書、調査書 資格取得等申告書			○
帰国子女学生特別選抜	個別テスト等		○	
	面接			○
外国人留学生特別選抜	日本留学試験	○		
	個別テスト等 日本語小論文		○	
	面接			○
編入学	個別テスト等 小論文		○	
	面接 （入学希望理由書）			○

地域創生学群地域創生学類 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学群地域創生学類は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人

○地域社会に対する責任感と使命感を有する人

（求める能力、入学選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 情報や課題を理解するために必要な読解力や文章表現力を備えている。 - 複雑な地域課題の解決のために、特定の分野の基礎知識を身につけている。 - 地域創生を達成するために必要な卓越した技能を有している。	- 相手の発言の意図や求められている事を的確に理解し、それに応じるために必要な表現力を身につけている。 - 地域創生に関する講義や文章を理解し、論理的にまとめる思考力を身につけている。	- 地域で活動する上で必要となる他者とのコミュニケーション能力や、自ら主体的に関わろうとする意欲を持っている。 - 自らのアイデアや経験を地域創生に活かす上での明確なビジョンを持っている。
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等		○	
	課題論文		○	
	集団討論			○
学校推薦型選抜 （全国推薦）	基礎学力テスト等	○		
	活動・資格等実績申告書 （志望理由書 1200字以内、調査書）	○		
学校推薦型選抜 （特別推薦）	基礎学力テスト等		○	○
	プレゼンテーション及び口頭試問 （事前課題、推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	
学校推薦型選抜 （活動実績推薦）	基礎学力テスト等	○	○	
	口頭試問 （推薦書、活動実績に関する資料、調査書、入学希望理由書）		○	
総合型選抜	基礎学力テスト等		○	
	＜1次選考＞ 集団討論 （自己推薦書、調査書）		○	
	基礎学力テスト等		○	○
	＜2次選考＞ 小論文 個別面接		○	

国際環境工学部環境化学工学科 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

国際環境工学部環境化学工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

○化学・エネルギー・環境に関心を持ち、その理解・応用の基礎となる知識・論理の修得を目指す人

○大学で学んだ知識を活かし、大学院での高度な知識の修得や、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目）※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		- 化学・工学を学ぶ上で基礎となる理科・数学に関する知識を身につけている。 - 多分野が関連するエネルギー・環境の学修のため、人文・社会・自然科学を問わず高校までの学問を幅広く修得している。 - 日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	対象とする課題の本質を理解し、解決策を論理的に導き、それを他者に的確に伝える力を身につけている。	- 化学・エネルギー・環境に強い関心を持ち、グローバルな視点で、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。 - 他者との協働による課題解決を実現するためのコミュニケーション能力を身につけている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 理科（化学基礎、化学）		○	
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等 化学	○	○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
編入学（一般選抜）	個別テスト等 英語 （TOEFL又はTOEIC）	○	○	
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○	○	
	口頭試問（化学に関する専門知識） ・面接 （入学希望理由書）		○	○
編入学（推薦選抜）	個別テスト等 口頭試問（化学に関する専門知識） ・面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○

国際環境工学部機械システム工学科 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部機械システム工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人

（求める能力、入学選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・機械システム工学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・機械システム工学分野を学ぶために必要な思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・将来、機械工学を用いて様々な環境問題の解決に取り組む意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 小論文		○	
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等	○	○	
	面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
総合型選抜	基礎学力テスト等 ＜一次選考＞ 調査書、入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注1）			○
	＜二次選考＞ 課題探究試験・面接		○	
編入学（一般選抜）	個別テスト等 英語 （TOEFL又はTOEIC）		○	
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
	口頭試問（機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識）・面接 （入学希望理由書）		○	○
編入学（推薦選抜）	個別テスト等 口頭試問（機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識）・面接 （推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○

（注1）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

国際環境工学部情報システム工学科 編入学生受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部情報システム工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 情報環境の生み出す諸問題に関心を持ち、解決しようとする意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・情報系工学分野に関する専門知識を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・情報系工学の基盤となる数学、物理などの基礎学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・情報系工学分野を学ぶために必要な思考力と判断力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。 ・自分の考えを分かりやすく適切に表現するために必要な表現力を身につけている。	・他者と積極的にコミュニケーションを図り、多様な考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・他者との協働を通じて多様な考えを吸収し、常に自分を高めようとする意欲を持っている。
編入学（一般選抜）	個別テスト等	英語（TOEFL又はTOEIC）	○		
		数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
		口頭試問（電子情報工学に関する専門知識）・面接（入学希望理由書）	○		○
編入学（推薦選抜）	個別テスト等	口頭試問（電子情報工学に関する専門知識）・面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○

国際環境工学部建築デザイン学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部建築デザイン学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・ 建築学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・ 高度な専門知識を有する建築技術者や一級建築士を目指す上での基盤となる理数系の素養を持っている。 ・ 日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・ 建築学分野の諸課題を理解し、その対策案をデザインする力を身につけるための思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・ 構造・意匠・材料・エネルギー等の多様な観点から建築について学ぼうとする姿勢を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		○	
	理科（物理基礎、物理、化学基礎、化学）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 面接（調査書）		○	○
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等		○	
	面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
総合型選抜	基礎学力テスト等 ＜一次選考＞ 調査書、入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注1）	○		
	＜二次選考＞ 課題探究試験・面接		○	○
編入学（一般選抜）	個別テスト等 英語（TOEFL又はTOEIC）	○		
	数学（微積分、微分方程式、線形代数の範囲）	○		
	口頭試問（建築に関する専門知識） ・面接（入学希望理由書）		○	○
編入学（推薦選抜）	個別テスト等 口頭試問（建築に関する専門知識） ・面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○

（注1）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

国際環境工学部生命工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部生命工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- バイオテクノロジー、生態系や地球環境の保全の分野で将来活躍したいという強い意欲を持っている人
- 生物・生体の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学に深い関心を持っている人
- 旺盛な知的好奇心と目的意識を有し、意欲的に国内外の環境問題の解決に取り組みたいと考える人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・人文・社会・自然科学・語学を問わず、幅広い知識を身につけている。 ・工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を身につけている。 ・日本語と英語のコミュニケーション能力を持っている。	・問題を理解・解析し、思考発展させる能力を身につけている。	・明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲を持っている。 ・将来は工学的見地から社会に貢献しようとする意欲を持っている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C）		○	
	理科（物理（物理基礎、物理）、化学（化学基礎、化学）、生物（生物基礎、生物）から2科目選択）		○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 面接（調査書）		○	○
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等 小論文		○	
	英語（実用英語技能検定又はGTEC）	○	○	
	面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）			○
総合型選抜	基礎学力テスト等 ＜一次選考＞ 調査書、入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注1）	○		○
	＜一次選考＞ 数学	○		
	＜二次選考＞ 課題解決型記述問題に関する 口頭試問及び個別面接		○	○
編入学（一般選抜）	個別テスト等 英語（TOEFL又はTOEIC）	○	○	
	口頭試問（数学、物理、化学、生物学、環境工学に関する専門知識）・面接（入学希望理由書）		○	○
編入学（推薦選抜）	個別テスト等 口頭試問（数学、物理、化学、生物学、環境工学に関する専門知識）・面接（推薦書、調査書、入学希望理由書）		○	○

（注1）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

情報イノベーション学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報イノベーション学部は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 情報工学やデータサイエンス、AIの力を活用して、環境・エネルギー・社会の課題解決に主体的に取り組もうとする意欲を持つ人
- 多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造しようとする姿勢と、明確な目標に向けて努力を惜しまない向上心を持つ人
- 探究心とアントレプレナーシップを備え、変化を前向きに捉えながら、自らの学びと成長を継続できる人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

		知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力		・情報工学、データサイエンス、AI技術などの専門分野を学ぶために必要な数学・情報に関する基礎的学力を有している。 ・社会課題や環境・エネルギー問題を理解するために必要な科学的・論理的リテラシーを備えている。 ・他者と協働するための基礎として、日本語および英語による基本的な読解・表現・情報収集能力を持っている。	・情報技術を活用して、課題を多面的かつ論理的に分析し、自ら考え、判断する力を持っている。 ・データや事実に基づいて、問題の本質を探り、創造的に解決策を構想できる思考力と表現力を備えている。 ・自分の考えを、多様な形式（文章・図表・プレゼンテーション等）で的確に伝える力を有している。	・社会や地域の課題に関心を持ち、自ら学び、自ら行動する意欲を有している。 ・他者の意見や価値観を尊重し、多様な立場の人々と協働しながら課題解決に取り組む姿勢を持っている。 ・新たな価値を創造するために、アントレプレナーシップやPBL活動に積極的に関与しようとする態度を備えている。
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学①、②から選択 数学①（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数列・統計的な推測）、数C（ベクトル）） 数学②（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B（数列）、数C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面））	○	○	
一般選抜（中期日程）	大学入学共通テスト	○		
	個別テスト等 数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B（数列）、数C（ベクトル））	○	○	
学校推薦型選抜（全国推薦）	基礎学力テスト等 小論文	○	○	
	面接、推薦書、調査書		○	○
	資格取得等申告書 （実用数学技能検定（数検）2級以上、JSTによる「次世代科学技術チャレンジプログラム」の参加活動実績（デジタルバッジ）等）			○
学校推薦型選抜（地域推薦）	基礎学力テスト等 面接（口頭試問を含む）、推薦書、調査書、資格取得等申告書		○	○

7 ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

■外国語学部

観点 \ 学科	英米学科	中国学科	国際関係学科
豊かな「知識」	・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。	・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語の4技能(読む・聞く・話す・書く)の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	・中国語の4技能(読む・聞く・話す・書く)をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。	・国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探索し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	・変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。	・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	・多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。	・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	・中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。	・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

■経済学部

観点 \ 学科	経済学科	経営情報学科
豊かな「知識」	・専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。	・専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。
知識を活用できる「技能」	・経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要なとされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」	・経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。	・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。

■文学部

観点 \ 学科	比較文化学科	人間関係学科
豊かな「知識」	・文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけるとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。	・人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。
知識を活用できる「技能」	・英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。	・人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。	・人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。	・人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」	・文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。	・人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。

法学部

観点	学科	法律学科	政策科学科
豊かな「知識」		・社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。	・21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。
知識を活用できる「技能」		・法的な問題点を抽出し、その解決に必要となる情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。	・政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。	・社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。	・公共政策課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。
社会で生きる「自律的行動力」		・法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。	・公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。

地域創生学類

観点	学類	地域創生学類
豊かな「知識」		・地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。
知識を活用できる「技能」		・地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術を、実践的に活用できる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。
社会で生きる「自律的行動力」		・地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。

国際環境工学部

観点	学科	環境化学工学科	機械システム工学科	情報システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
豊かな「知識」		・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、化学に関する専門知識と実践力を身につけ、それらの知識を化学工業、資源・エネルギー問題、環境問題と関連づけて理解している。	・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をもふまえた広い視野をもって重要な概念や知識を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、情報系工学と関連分野の基礎知識を有し、その人間社会や環境における意義を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。	・生物・化学・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学、物質科学、環境科学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。
知識を活用できる「技能」		・化学分野の技術開発や環境問題の把握・解決に必要とされる基本的な実験技術、データ整理、科学的な解析能力を身につけている。	・機械システム分野の技術開発に必要とされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。	・情報系工学分野と関連分野の技術開発に必要とされる情報通信、画像・音声処理、人工知能、計測制御・ソフトウェア開発、電子・集積回路設計、データサイエンスなどの基本的技能を身につけている。	・建築学分野の技術開発に必要なとされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。	・生命工学分野に関する生物・化学・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・環境化学工学分野の学修を通じて、自ら得たデータや解析結果をもとに化学の視点から論理的に思考・判断することによって、問題解決法を生み出す応用力を持つとともに、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・情報系工学分野に関する学修を通じて、人間社会や環境における様々な課題について、電子・情報・通信技術の本質を捉えた解決法を企画・立案し、実践の結果を評価して結論を導き出し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・生命工学分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・環境化学工学分野の実験・実習科目やインターンシップ、卒業研究などを通じて、地域や組織での活動において自分の考えを相手に効果的に伝える技術や、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・情報系工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを他者に効果的に伝え、発展的な議論を行い、相互に啓発し合いながら、協力して問題解決に取り組むことができる。	・建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・生命工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」		・環境化学工学分野の学修を通じて、化学技術者としての社会的責任感と倫理観を身につけ、地球規模で抱えている資源・エネルギー問題や環境問題への関心を持ち続け、問題解決に向けた意欲と行動力を有している。	・機械システム分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。	・情報系工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・生命工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

■情報イノベーション学部

観点	学部・学科	情報イノベーション学部	情報エンジニアリング学科	共創社会システム学科
豊かな「知識」		・情報工学、データサイエンス、人工知能(AI)技術の理論を理解し、環境・エネルギー等の社会課題への応用を含めて、分野横断的な知識を体系的に修得している。	・数学、統計学、情報理論、プログラミングなどの基礎に基づき、情報の構造、処理、伝達、制御に関する理論と方法を体系的かつ実践的に理解するとともに、技術の進展や多様な応用領域に柔軟に対応できる基盤的な知識を備えている。	・統計学や情報工学などを活かしつつ、経済・経営・心理・環境といった領域の視点から社会課題について考えるための基礎知識と、資源循環などの社会システムの設計・評価といった応用領域を学び、社会と情報技術の関係を俯瞰的に理解している。
知識を活用できる「技能」		・データ収集・分析・可視化、システム開発などを通じて、情報技術を社会課題の解決に実装・応用するための基本的な技能を身につけている。	・情報システムの設計・開発から、データの活用、人と機械の連携、ハードウェアとソフトウェアの統合的な制御に至るまで、情報技術を実社会に応用するための基礎的かつ実践的な技能を身につけている。	・データサイエンスや人工知能(AI)の活用を通じて社会課題を定量的に捉え、社会構造を論理的に整理・分析し、情報倫理に配慮した新たなテクノロジーを応用するための実践的な技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・実社会の複雑な課題に対して、デザイン思考を活用し、データに基づいて論理的に分析・判断したうえで、創造的かつ持続可能な価値を構想・表現できる。	・情報技術に関する学修を基盤に、実社会の課題に対して人間中心・社会価値志向の視点から創造的に思考し、データや技術的根拠に基づいて論理的に判断し、課題解決に資する製品・システム・サービスのかたちで具体的に表現できる。	・データに基づいて社会課題を論理的に抽出し、デザイン思考を活用して持続可能な価値の創出を見据え、自らの考えを創造的に表現できる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・異分野・異文化との協働や地域との連携において、多様な視点を整理・統合し、課題解決に向けた提案や発信を行うことで、持続可能な社会づくりやGX (Green Transformation)の実現に貢献できる。	・異分野・異文化との連携において、情報技術を駆使しながら協働し、グローバルな視点と情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。	・社会的な課題に対して、異分野・異文化と連携しつつ、情報技術を駆使しながら協働し、地域とグローバルな視点および情報倫理を踏まえ、多様な立場を尊重しながら、自己の考えを適切に発信できる。
社会で生きる「自律的行動力」		・変化の激しい社会・技術環境に柔軟に対応し、自律的に学び続ける姿勢を持ち、データとAIを活用して持続可能な未来を構築するための社会実装力を備えている。	・情報技術の進展に柔軟に対応し、自己学習を継続しながら、持続可能な社会の構築に向けた探究心と社会実装力を身につけている。	・社会や環境の変化を捉えて自律的に学び、課題を主体的に設定し、理論と実践の往還を通じて持続可能な社会や地域との共創に貢献する力を身につけている。

8 入学試験の主な変更点等について

入学試験の主な変更点等については、本学ホームページをご覧ください。

大学ホームページ <https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/faculty/modification.html>



9 資料の請求等について

■ 学生募集要項

各選抜の出願方法は、インターネット出願を導入しています。紙の願書はありませんので、各学生募集要項は必ずホームページからダウンロードし確認してください。(※ 入学者選抜要項に出願書類は含まれていません)

試験日	選抜区分		募集要項公開時期	出願期間
2026年6/7(日)	編入学	(国際環境工学部のみ)	4月中旬	5/11(月)～5/15(金)
9/6(日)	編入学	(外国語・経済・文・法学部)	7月上旬	7/29(水)～8/4(火)
	再入学	(外国語・経済・文・法学部・地域創生学群)		
9/27(日)	総合型選抜	・外国語学部 英米学科 ・外国語学部 国際関係学科 ・地域創生学群 ・国際環境工学部 機械システム工学科 ・国際環境工学部 建築デザイン学科 ・国際環境工学部 生命工学科	7月下旬	9/1(火)～9/7(月)
10/18(日)			2次選考	
11/29(日)	学校推薦型選抜 (外国語・経済・文・法・国際環境工・情報イノベーション学部、地域創生学群)		10月上旬	11/2(月)～11/9(月)
2027年1/16(土)	大学入学共通テスト		※出願先は大学入試センターになります。	
1/17(日)				
2/7(日)	帰国子女学生特別選抜 (外国語・経済・文・法学部) 外国人留学生特別選抜		11月中旬	1/4(月)～1/8(金)
2/25(木)	一般選抜 (前期日程)	文・法・国際環境工・情報イノベーション学部	11月下旬	1/25(月)～2/3(水)
2/26(金)		外国語・経済学部、地域創生学群 (1日目)		
2/27(土)		地域創生学群 (2日目)		
3/9(火)	一般選抜 (中期日程)	情報イノベーション学部		
3/12(金)	一般選抜 (後期日程)	経済・法・国際環境工学部		
3/13(土)		外国語・文学部		

■ 大学案内

●テレメール(インターネット)サイトから請求する場合

URL <https://telemail.jp> (パソコン・スマホ共通URL)



567332 資料請求番号を入力したのち、ガイダンスに従って登録してください。
料金(送料含)が必要です。

※注意事項

- 16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。なお、発送開始日は変更になる場合があります。
- 通常は発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、資料を請求する曜日やお届け先地域、郵便事情によってはお届けに1週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合、お届け日が異なることがあります。
- 発行部数に限りがありますので、早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。
- 資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、料金は資料の重量により変更になる場合があります。
- 料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(PayPay 請求書払い、au PAY請求書支払い)」がご利用になれます。PayPay、携帯キャリア払い、クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、支払い時に別途必要です。



テレメールカスタマーセンター ☎050-8601-0102 (受付時間：9:30～18:00)

●本学へ直接郵便で請求

本学宛の請求封筒の表に請求する資料名を朱書きし、受取人の郵便番号・住所・氏名を書いた返信用封筒[角形2(24cm×33.2cm)号に310円分の切手を貼付]を同封して送ってください。
※ゆうメールでの送付となります。

●大学情報センターのサイトから請求する場合



あとはガイダンスに従って登録してください。
料金(送料含)が必要です。



<https://dj-mb.jp/kitakyu-u3/>



大学情報センター株式会社
モバっちょカスタマーセンター
☎050-3540-5005
(受付時間：平日10:00～18:00)

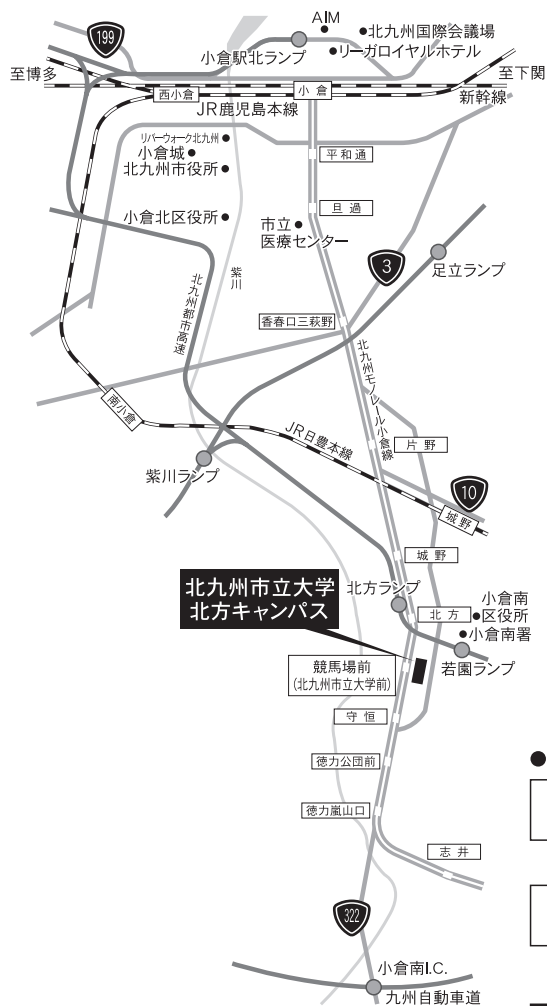


〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

北九州市立大学 入試・研究支援課 ☎093-964-4022

交通アクセス

◆北方キャンパス



◆ひびきのキャンパス



●北九州市立大学 (北方キャンパス)

モノレール小倉駅

(小倉駅ビル3F)

モノレール
約10分

競馬場前

(北九州市立大学前)

徒歩
約3分

北九州市立大学 (北方キャンパス)

●北九州市立大学 (ひびきのキャンパス)

折尾駅バス停

西鉄バス
約20分

市営バス
約20分

学研都市ひびきの

徒歩
約2分

北九州市立大学 (ひびきのキャンパス)

※バスの乗り場・行先番号については、最新情報を以下でご確認ください。

北九州市営バス
若松営業所
093-771-2765
向田営業所
093-691-0131

西鉄バス
西鉄お客さまセンター
0570-00-1010
050-3616-2150

お問い合わせ先

北方キャンパス

(外国語・経済・文・法・情報イノベーション学部・地域創生学群)

〒802-8577

北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

TEL.093-964-4022

ひびきのキャンパス

(国際環境工学部)

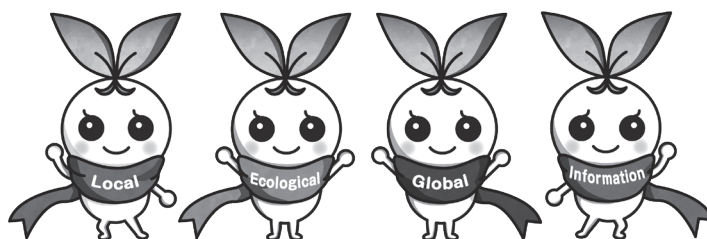
〒808-0135

北九州市若松区ひびきの1番1号

北九州市立大学 学務課入学試験係

TEL.093-695-3340

ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター

きたきゅっち